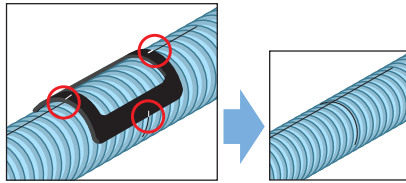


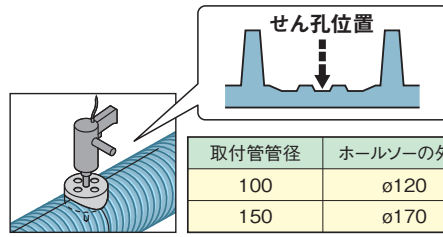
回転固定式支管 (QE支管)

●リップ付管用 回転固定式支管の施工手順●

せん孔



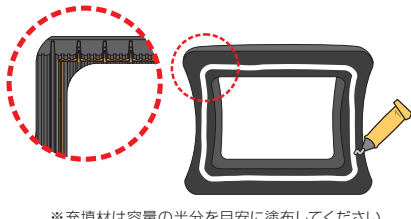
1 シールリングを仮置きして、合いマーク位置部(4箇所)にマジックで印を入れ、下図のように管軸方向と周方向に結びます。



取付管管径	ホールソーの外径	適用せん孔径
100	φ120	φ117~φ122
150	φ170	φ168~φ172

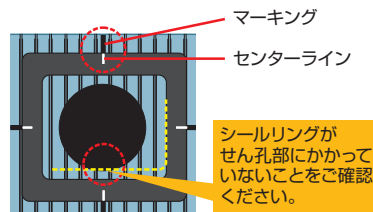
2 取付管径に合ったホールソーを用いて①の交点をセンターとしてせん孔します。せん孔に伴い生じた内外周のぼりは、ヤスリなどで滑らかに仕上げてください。

シールリングの取付け

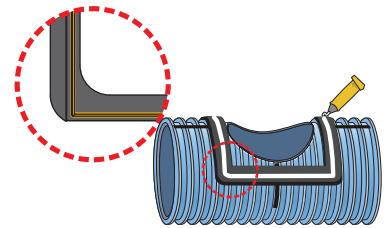


※充填材は容量の半分を目安に塗布してください。

3 充填材をシールリングのパイプ当り面のリップに沿って塗布してください。

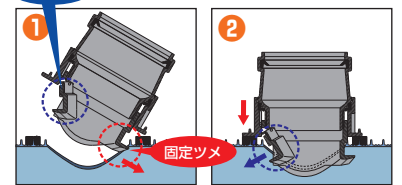
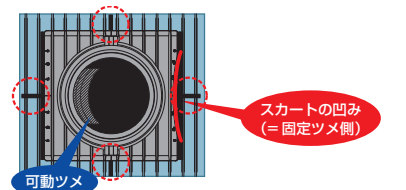


4 接合部をウエスできれいに拭いた後、仮置時にマーキングしたポイントに沿って取り付けてください。



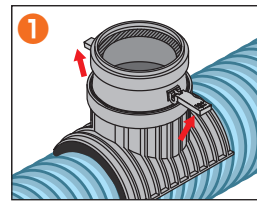
5 残りの充填材をシールリングの支管本体の当り面のリップに沿って塗布してください。

支管の取付け

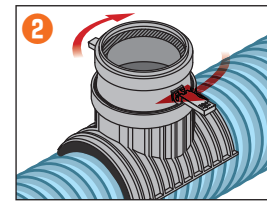


①固定ツメ側からセットします。②可動ツメをセットします。

6 支管本体を固定ツメ側から斜めに傾けて、せん孔内にセットします。このとき、位置決め用のマーキング、支管本体のセンターライン及びシールリングのセンターラインが重なっているかを確認してください。



①ハンドルを起します。



②矢印方向(時計回り)に1回転させ、ハンドルが管軸と垂直になるまで締め込んでください。

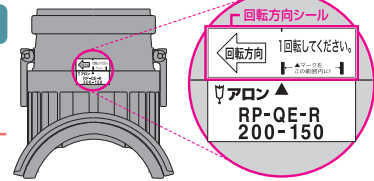
ポイント



軽く揺すって、かたよりが無くセットされていることを確認してください。



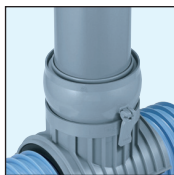
回転方向シールが1回転して元の位置に戻ってきたら完了です。



一回転後「合いマーク」の範囲内に収まっていることを確認してください。締め付け力が不足すると、浸入水の原因となります。

7 ハンドルを起こし、時計回りに回転させてください。

取付管の接合



RP-QE-R (ゴム輪受口タイプ)
RP-QE-F (自在受口タイプ)

取付管を面取り・滑剤を塗布し、取付管を挿入します。



RP-QE-K (可とう受口タイプ)

取付管を差込み、ステンレスバンドを十分に締め付けてください。締め付け力は約4~7kN・m程度です。

(ボックスドライバーサイズ:8mm)

取付管の面取り、滑剤は不要です。

8 受口タイプ別の手順に従って、取付管を接合してください。